

1 感染予防・感染拡大防止のための基本的な考え方

新型コロナウイルスの主たる感染経路が「接触による感染」と「飛沫による感染」であること、また、発症前1日ないし2日前の無症状・無自覚状態が最も感染力が強いこと、クラスター対策の重要性が指摘されている。したがって、人の集まる工大祭の開催にあたっては、開催当日の九州工業大学戸畑キャンパス内はもちろん、大学周辺・開催前後においても「接触感染」と「飛沫感染」、「マイクロ飛沫感染」のリスクをいかに少なくするか、そして万が一感染が発生した場合に感染経路の追跡を可能とすることを感染予防・感染拡大防止対策の主旨とする。

工大祭関係者や来場者に対して、工大祭開催期間中に講じる対策と合わせ、開催前後における対策を徹底し、理解を促していく必要がある。また、来場者は本学に在籍している学生、および教職員のみ入構を許可する。

特に①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの密(いわゆる「三密」)のある場所は、「接触感染」と「飛沫感染」を誘発する機会が高いと考えられる。本ガイドラインは、これを避けることで、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することを旨とする。

2 工大祭関係者(工大祭実行委員、企画出場者、学科展・サークル展出展者)及び来場者が行う具体的な対策

- 工大祭関係者には毎朝の検温を徹底し、以下のいずれかに該当するものはその時点で自宅待機とする。
 - ・発熱がある(目安として37.5度以上)、咳、下痢、味覚障害、嗅覚障害、だるさ、息苦しさなどの症状がある者
 - ・新型コロナウイルス陽性判定を受け、現在医師に自宅待機指示を受けている者
 - ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある者
 - ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる者
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航及び該当国、地域の在住者との濃厚接触がある者
- 原則として不織布マスクの着用を必須とする。
 - ・布マスク、ウレタンマスク等の場合は、着用済みのマスクの上から不織布マスクをつける、または不織布マスクに取り替える。
 - ・不織布マスクを着用されていない来場者にはマスクの配布を行う。
- 手指消毒を徹底する。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAのインストール及び、工大祭公式のLINEbotの追加を必須とし、行動確認を行う。
- 工大祭関係者の氏名、メールアドレス、電話番号を把握し、名簿を作成する。
 - ・上記の名簿は、名簿の情報が必要に応じて保健所などの公的機関へ提供されることを事前に周知し事前承諾を得る事とする。
 - ・また、上記の名簿は工大祭実行委員会で保管し、個人情報保護の観点から、個人情報の保管には十分な対策を講じることとする。
- 身体的距離の確保を徹底する(1メートルを目安)。
- 咳エチケット等周りに配慮して行動する。

3 工大祭実行委員が行う具体的な対策

3.1 工大祭実行委員が行う基本的事項

- 各施設の入口にアルコール手指消毒剤を設置し、手指消毒を徹底する。
- ドアノブ、手すりなどの不特定多数の者が接触する可能性がある設備及び共有する物品に関しては、こまめな消毒を行う。
- 工大祭実行委員、企画出場者、常駐の外部業者はPCR検査を必須とし、陰性と判断された人のみ入構可能とする。
・上記以外の工大祭関係者(学科展・サークル展出展者)についてはPCR検査を推奨し、陽性だった場合は入構禁止とする。
- 身体的距離の確保を徹底する(1メートルを目安)。また身体的距離の確保が困難な場合、パーティション、フェイスシールド等、身体的距離を置くことと同等の効果を有する措置をとる。
- トイレの蓋をしめて汚物を流すよう、使用者に徹底する。
- トイレ後の手洗い、手指消毒を使用者に徹底する。
- 清掃やごみの廃棄を行うものは、手袋の着用を徹底する。
- 清掃作業を終えたものは、手洗いや手指消毒を行う。

3.2 体調不良者がでた場合の対応策

- 発生時は、体調不良者専用の個室に案内する。
- 判明時点で学校医に報告し、その後の指示を仰ぐ。
- 体調不良者の氏名、メールアドレス、電話番号を控え、検温を行い37.5度以上の熱がある場合は速やかに帰宅してもらう。
- 上記に対応する実行委員は手袋やフェイスシールドの装着し、感染対策を徹底する。

4 カウンター(受付)におけるガイドライン

カウンターは檣山館入口、総合教育棟入口の2か所に設置し、以下のコロナ対策を行う。

- テントの正面にアクリル板を用いて来場者とスタッフ間の仕切りを設ける。
- 来場者は不織布マスクの着用を必須とする。
・来場者が布マスク、ウレタンマスク等の場合は、不織布マスクに取り替える、または着用済みのマスクの上から不織布マスクをつける。
・不織布マスクを着用されていない来場者にはマスクの配布を行う。
- 来場時にて、検温、手指消毒を行う。
- 検温時に37.5度以上あった場合、速やかに帰宅してもらう。
- 来場時にカウンターにてCOCOA・工大祭公式のLINEbotの登録を必須とする。
- LINEbotにて、必要事項(氏名、メールアドレス、電話番号)を入力してもらう。
- LINEを使用していない方には用紙に氏名、メールアドレス、電話番号、体温を記入してもらう。
- 各施設の入口にて入退場の際LINEスタンプを送信してもらい、行動確認を行う。
- アクリル板などの仕切りや机、椅子などの物品をこまめに消毒を行う。

5 橋山館及びトレーニングルームに関するガイドライン

5.1 橋山館及びトレーニングルームにおける基本的事項

- 企画出場者はPCR検査を必須とし、陰性と判断された人のみ入構可能とする。
- 体育館内では企画と企画の間に換気を行う。また、トレーニングルームは常時換気を行う。
- 使用する物品、ステージ周りの機材についてこまめな消毒を行う。
- 水分補給以外での飲食を禁止する。
- CO₂モニター計の値が1000ppm以下になるよう徹底する。

5.2 企画出場者に対するケータリング

- 食事の提供は行わないこととする。
- ケータリングに関わるスタッフは事前に手洗いや手指消毒を行う。
- 企画ごとに椅子や机などの消毒を行う。

5.3 ステージ企画での具体的な対策

- 企画出場者の人数は必要最小限に止め、ステージ上の最大人数を8名とする。
- ステージ上にて企画出場者の身体的距離の確保を徹底する(1メートルを目安)。
- 身体的距離の確保が困難な場合、パーテーションやフェイスシールドなど、身体的距離をおくことと同等の効果を有する措置を講じる。
- 企画中や企画ごとにマイクの消毒を行う。
- ステージ周りの人数は上手30名まで、下手50名までとする。
- 仕込み、リハーサル、撤去などにおいて、十分な時間を設定する。

5.4 観客席での具体的な対策

- ステージと客席の距離は最低3メートル確保する。
- 体育館内での不必要な私語、大声での歓声を禁止する。
- 観客同士の身体的距離の確保を徹底する(1メートルを目安)。

6 総合教育棟に関するガイドライン

6.1 総合教育棟における基本的事項

- 使用する物品や展示物はこまめな消毒を行う。
- 水分補給以外での飲食を禁止する。
- 人数制限を設け、原則常時換気を行うこととする。

6.2 飲食スペースでの具体的な対策

- 飲食スペースの利用はサークル展出展者のみ利用可能とする。
- 座席は1席分間隔をあけて座る。
- 黙食を徹底する。
- 身体的距離の確保が困難な場合、パーテーションやフェイスシールドなど、身体的距離をおくことと同等の効果を有する措置を講じる。
- 利用後は工大祭実行委員が物品の消毒を行う。

※本ガイドラインに従った取り組みを行う旨をHPやSNSで公表する